

東京商工会議所女性会

# 東商 Lady

第17号 2011.2

ともがら  
「輩の叡智と友情を糧に」

新体制ご挨拶 会長 吉川稲美

# 輩しよむがらの叡智と

# 友情を糧に

東京商工会議所女性会  
会長

吉川 稲美

伝統ある東京商工会議所女性会は昨年役員改選が行われ、二名の新副会長を迎え新たな体制で六十二年目の活動がスタート致しました。

これまでも先輩の皆様や多くの会員の皆様が築いてこられた組織を、今の時代に必要とされている要素を加えながら、健全に発展させるための活動に取り組んで参りました。引き続き、女性の長を生かした幅広い活動を展開して参りたいと存じますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

政治も経済も依然厳しい状況が続いておりますが、中でも昨年は北朝鮮による韓国延坪島の砲撃や、尖閣諸島での中国漁船衝突問題は、日本人が「国家」について改めて考えさせられる年であったかと思えます。

またフランスの経済学者のジャック・アタリ氏は、日本は先進国として最悪の債務を抱えているにもかかわらず、国民には全く危機感がない、

株式会社吉香  
代表取締役社長

吉川 稲美

1967～75年に佐藤栄作元首相の秘書を経て1979年に国際会議等の企画・運営や通訳・翻訳事業のほか、人材派遣などを主要業務とする株式会社吉香（きっこう）を設立。現在、代表取締役社長。

通訳・翻訳に関しては約90の言語に対応しておりテレビ局をはじめとした報道関係、省庁などにサービスを提供。

1990年には国会内に、議員外交を側面から支援する「外国語センター」を開設。

2000年10月より東京商工会議所議員となり、現在は全国商工会議所女性会連合会会長、東京商工会議所女性会会長をはじめ、様々な委員を務める。



このままでは日本が死に至ると警告しておられました。もはや私達、特に経営者は、己の利益や自分の回りのことのみではすまされず、国という角度から物事を見なければならぬ難しい時代を迎えております。

その一方で、こうした厳しい時代にあつて尚、元気の良い企業・組織には独特の明るさ、温かさがあります。厳しい現状を自らの責任として捉え、一人ひとりが深く掘り下げ、マイナスや失敗から学ぶ謙虚でかつポジティブな姿勢を持ち続けることから生まれる明るさ、温かさと思います。

人間にはたゆまぬ積み重ねの結果、自信が生まれ、その自信があつてこそ謙虚な姿勢が生まれる。その積み重ねの繰り返しが本当の強さ、感謝を生むといわれます。このことこそ日本精神の基になるのではないのでしょうか。こうした自己研鑽こそが人間力を育てゆき、それが自分の、また組織の力となっていくのだと思います。

私は、女性会の活動を通して思考の錬磨、感情の制御に努め、礼儀を重んじ、会員相互の信頼関係、友情の絆を築き、深めることが出来ますよう願っております。女性会に参加することにより、輩（ともがら）の叡智をいただき、それぞれが会社に戻り、更なる勇気を持って仕事に取り組める、そのような組織、活動を目指したいと思っております。そして女性会が醸し出す温かさが、社会や地域に波及していくことを願っております。

これまでの概念では立ちゆかなくなっております変革の時代の今、お互いに信念を持って、明るく温かく、そして強く進んで参りましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。



当日欠席者と  
撮影者



東京商工会議所女性会全役員写真：平成22年12月役員会にて

女性経営者としての「人づくり」

1986年の11月に東京商工会議所に入会して早24年になりますが、女性会に所属してからは21年となりました。その間、小泉清子会長の年度に監事を任命いただき、理事として常任理事を務め、齋藤朝子会長の年度には交流の委員長や情報広報の委員長も務めさせて頂き、このたび吉川稲美会長のもと、2期目の副会長を拝命いたしました。

近年、人格や女性の品格とか美しい日本という言葉が耳にするようになったのは、日本人の心の深層に、かつての日本への回帰の期待が込められているからでは

井上 象英

株式会社象英企画  
代表取締役社長

ないでしょうか。現代社会でも相変わらず経済的成功が人間の最も重要な目的であるかのような風潮です。本年、東商女性会は設立から62年を迎えますが、日本の将来、女性会の永続的発展のためにも吉川会長の求める「人格をつくる」「徳性を養う」そして知識を吸収し、真に女性経営者としての「人づくり」が出来れば、将来を担う元気な女性起業家を更に増やしていけるのではないかと思うのです。良き習慣づくりが人間の心身を強くすると言われます。「人材育成」と「管理」は渋沢経営学の中で大きな柱となっています。

とくに孟子は「天の時は地の利に如かず。地の利は人の和に如かず」と。その中で一番大切なのは人の和と説いています。仲間良くなければ調和もバランスもありません。もちろん仕事においても会社経営においても失敗に繋がります。吉川会長のポリシーとする「和」と「社会貢献」は会社経営の前提として、現在の激しい競争社会にそのまま該当する言葉ではないでしょうか。自分は何がしたいのか、何の為の起業だったのか、女性経営者として経営力だけでなく、「志」という経営者としての頭脳とマインドを育てる活動を

皆様と共に行っていきたいと思っています。副会長また社会貢献委員長という重責ではあります。副会長また社会貢献委員長という重責が、精一杯女性会の発展に向けて努めたと思います。浅学非才ですが会員の皆様、ご指導とご協力のほど宜しくお願い致します。



新たな交流委員会として

設立60周年を超える伝統ある女性会の副会長を拝命し、又、交流委員長としての重責を担うことになりました。

皆様のお役に立てる様、精一杯努力致しますので、宜しくご指導の程お願い申し上げます。1月26日の新年懇親会では、多数の方々に御参加戴き、役員の皆様一致協力のもと成功裏に終ることがで

畠山 笑美子

株式会社アプリコット  
代表取締役

きました。本当にありがとうございます。担当としてお礼申し上げます。

交流委員会は、会員間の交流・理解を深めるための諸活動をしております。食事会、観劇会、全国大会・他団体との交流等、経営者の皆様が日々の仕事を離れ、ひとときを楽しく過ごしコミュニケーションを図りながら鋭気を養って戴ければと

思います。私は、経営者が健康であること、そのことが、経営の活力を生み出し、困難を乗り切るパワーであると信じています。今年度からは、ゴルフも交流委員会で担当いたします。どなたでも参加出来ますので更なる交流の場として活用戴ければと思います。

グローバルな時代となりました。今後の目標として、海外交流もできれば検討してみたいと思っております。多くの女性経営者に、出会ったことに依り、お互いに切磋琢磨し、自己の人格向上と企業発展に繋げて行き



たいものです。

先日、サッカーのアジアカップで日本が

優勝した勝因は、「選手が一丸となって戦ったこと」と監督のコメントがありました。

一丸となることは予想出来ない大きなことを成し遂げることが出来るのだと改め

て感じました。女性会も一丸と成りましよう。会員皆様の幸せの為に！

### 日本一誇り高き女性会に

昨年より副会長を拝命し、大変重責だと感じております。

気が付けば東商女性会に入会し早や10年余が経ち、思いがけずこのように長く女性会とのご縁を持って、感慨深い思いでございます。当初、全く未知なる世界に入り、不安な気持ちでありつつも、情報広報部、研修部、交流部とお手伝いをさせて頂き、多くの方々とお知り合いになる事が出来ました。このような各部での

活動により、己の未熟さを知り、また経営者としても更なる自己研鑽が必要だと痛感致しました。

私にとって女性会は、「東商女子大学経営学部」といった存在で、見識が高まり、切磋琢磨できる場であり、反面、とても居心地のいい癒しの場となっております。

世間には多種多様な団体組織がございますが、私はその中で「日本一誇り高き

## 阿部千恵子

### 株式会社フジ 代表取締役

女性会」になる！という夢を心ひそかに抱いております。

私に付きましては、この度、ビジネス事業委員会を担当させていただく事になりましたが、この委員会でのような活動をしていくか、どのような目標を掲げ運営していくべきかが問われるところでございます。会員の皆様がそれぞれお持ちの経験談やその他アイデアなど、お互いに提供しあい、新たな友好関係等、

生み出すことができる委員会になればと願っております。

微力ながら、粉骨砕身努力して参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



### 一人一人の輪が女性会の 大きな輪になります事を願って

この度、副会長を拝命致しました山口玲子でございます。

世の中の様々な変革に女性会も歩を合わせて進むべきこの時代に、副会長を引き受けて頂きました事に改めて重責を感じ、更に心を引き締めて皆様のお役にたてますよう臨ませて頂く所存でございます。

## 山口 玲子

### 株式会社ヴィヴィッドレイ 代表取締役社長

います。

女性会に入会致しまして以来、広報部、交流部、研修部と色々な部活動を経験させて頂きました。そのなかで様々な事柄を学び体験させて頂き、又沢山の会員の皆様方との交流を持たせて頂きました事は、私の身に余る宝物となっております。

今回名前も新たな研修委員会の委員長を務めさせて頂きます。女性会会員の皆様それぞれが何かを会得して頂ければ、研修委員会と致してもこの上のない幸せと思っております。

是非私達女性経営者の力を結集致しまして、東商女性会の輪をもっともっと大



きな輪と致し、これから担うべく新しい世代の方々に引き継げるなら最上の喜びでございます。これからも女性会会員の皆様方のご協力を頂戴出来ませう何卒宜しくお願ひ申し上げます。

## 久家道子

株式会社久家道子エンプロイダリー  
代表取締役会長



新年を迎え、改めて東商女性会の活性化について考え、会長を中心に役員・会員が叡智を結集して歩みたいと願っています。

近年、アメリカのリーマンショックをきっかけに、日本も他の国も経済が急に不況の波を経験しています。我が社も50年余りもオリジナル性を基盤に、教育・製品づくりを中心に歴史を重ねてきています。

比較的女性の趣味要素が多い刺繍ビジネスは、時代や流行に左右されないでいながらも、さすがに不況の煽りを味わっている状態を脱出できぬまま年を越してしまいました。

しかし、60年間日本女性の感性、教養に接してきて、益々趣味を活かして、この国の文化を大切に生活に取り入れてゆく傾向もよく感ぜられ、自分の今日の在り方に感謝しています。

女性会では、今後も良い交わりのチャンスとし、具体的に会に活気を与えることを考えてゆきたいと思えます。

交流・研修・社会貢献・ビジネス事業・広報に選んで所属していただき、切磋琢磨をしつつ、楽しい女性会の勉強会や催しを企画できることをご期待いたします。

# 常任理事よりひとこと

## 清水洋子

株式会社清水屋  
取締役副社長



昨年11月より吉川会長の下、新たに新役員体制で、歩み始めました。常任理事という大変なお役をいただき、身のひきしまる思いでございます。

前期は社会貢献部としてお手伝いをさせていただき、環境・災害共助・教育を主とした共生（ともいき）のこころ展が賑々の思いに残っております。

また、本年度より山口玲子副会長の下で、研修委員会としてベストを尽くしていきたいと思っております。

女性会としての貴重なご縁を大切に、素晴らしい人達との楽しい交流の場として豊かな知識をいただきながら、研修委員会の更なる向上を図り、勉強会（講演会）など企画・実施を皆様と共に実行していきたいと願っております。

また、東商女性会は、女性の社会参加の場として大変に勉強になるばかりでなく、皆様のご経験や想いを社会へと還元できる場でもあると思えます。入会してよりの年月、何もわからない私を育てていただきましたことに感謝申し上げます、経営者として、会員として、誇りを持ちこれからも協力させていただきまます。

## 野地英子

有限会社島田小割製材所  
取締役



昨年度に続き、さわやか吉川丸に乗り組むことになりました。舵の近くになったことが不安です。よりいっそうのご指導を、お願い申し上げます。

会員として30年近くになります。以来、講演会等の様々な企画に、マイペースを崩すことなく参加し、沢山の新しい発見があり、楽しんで来ました。東商女性会だからできた誇りに思える活動もありました。また、己を省みる機会も多々あり、自己嫌悪を覚えることも度々でしたが、性来の呑気さで、今日に至っています。

この頃、新聞広告で「人生の最終的な作品は自分自身である」とという言葉を見つけた。入会のご縁を大切に、当会を通じて、心身共に素敵な自分作りをして行きたいものです。

本年度、ご就任のご挨拶にあった「東商女性会が大好きです！」のくだりで、私の感性を「ビビーツ」と震わせた阿部副会長と、ビジネス事業委員会活動させて頂きまます。

## 志摩淑子

株式会社朝日写真ニュース社  
代表取締役会長



この度の役員改選にて常任理事を拝命し、また各委員会の中では、交流委員会の副委員長として重責を担うこととなりました。新たな船出の始まり、また吉川会長を中心に更なるチームワークを大切に頑張っております。

まず会員間の交流と親睦を深める為の諸活動と致しまして、全商女性連全国大会への参加、他団体との交流、会員相互の食事も等々楽しい企画を立て、会員の皆様とともに活動してまいりたいと考えております。

また、私は今まで女性会ゴルフ同好会の幹事をしておりましたが、今期からは交流委員会の中の一つの行事として活動を組み入れることになりました。更に楽しい会を遂行し、友情の輪も大いに広げていきたいと思えます。

会員の皆様には、それぞれご自身にあった委員会を選択していただき、ともに日本一の素晴らしい女性会を目指してまいります。

## 竹ノ内みえ子

株式会社サンシユウ  
取締役



東商女性会に入会させて頂きましたのは、創立50周年を迎えようとしている頃でした。

右も左も分からずただただ諸先輩方について小走りしておりました。その私がまさか「常任理事」という重責あるお役を受けさせて頂くこととなり、身の引き締まる思いでございます。

東商女性会の歴史を引き継ぎ、その名を汚すことなく更なる発展の為、吉川会長の下、精進してまいります。委員会では社会貢献を担当、井上象英委員長の牽引を仰ぎ、副委員長としてプログラムを構築してまいります。二期目となる新生社会貢献委員会がどのような支援に重点を向け、実践していくべきか、今後の大きな課題です。会員皆様方ますますのお力添えをお願いする次第でございます。

前期では、「社会貢献とは？」から始まり、世に貢献されている先生方の講演を拝聴し、初めてのチャリティーコンサートも「相田みつを美術館」にて開催致しました。多くの皆様の心強いご支援を頂きました。皆様の熱い思いを無にする事なく、連帯意識をもって外部に発信できたらと思っております。そして福祉活動のほんの一端でも担えるような社会貢献委員会を目指してまいります。

さまざまな出会い、たくさんの気づき…  
そして、東商の一翼を担い日本の世論を世界に発信していく誇り。



平成22年11月16日

東商ビル 国際会議場

平成22年度東京商工会議所女性会（臨時）総会

冒頭、事務局より去る10月14日東京商工会議所第620回常議員会において東京商工会議所女性会会長に吉川稲美会長が再任された旨の報告がありました。

閉会后、全商女性連が推進する「エコライフ宣言」に沿ってそれぞれが持参したマイ箸で昼食弁当を頂戴し、和やかに開きとなりました。

吉川会長の開会の挨拶の後、高野東商理事・事務局長から東商本体の動向、女性会の改革等について説明がありました。吉川会長が議長となり、会長・副会長・常任理事・顧問・相談役の選任結果、及び役員の再任に関する内規の一部改正についての報告がありました。次いで議件に入り、理事・監事の選任（案）及び規則の一部改正（案）について諮られた結果、異議なく承認されました。以上を以て議件の審議を終了し、続いて吉川会長より新体制の運営方針についての説明があり、新任役員の紹介、退任役員への花束贈呈が行われました。



# 新年懇親会

新装となりました  
ザ・キャピトルホテル東急  
「鳳凰」の間に於いて、  
平成23年東京商工会議所女性会  
新年懇親会が開催されました。  
多くの来賓の方々にご参加いただき、  
雅やかな江戸古典奇術  
「手妻」の不思議に酔いしれ、  
厳選されたお料理をいただきながら、  
和気藟々と新春を言祝ぐ  
盛大な宴となりました。



吉川稲美 東商女性会会長

新年懇親会の開宴に先立ち、ウエルカムアトラクションとして、和妻悉皆屋藤山晃太郎氏による江戸古典奇術「手妻」が披露されました。「手妻」は江戸の時代から我が国に伝わる伝統芸能であり、藤山晃太郎氏は若手でもっとも注目されているこの伝統芸能の担い手です。

華やかな和の調べの中、おめでたいものへの見立て芸を兼ね備えた造形芸の美しさ不思議さに目を奪われ、会場の会員もご参加いただき、生のお米をお菓子に変えるという奇術にはのほのほとし、幸せな時間を共有させていただきました。

終了後、感謝の思いを込めて中島早苗理事より花束の贈呈がありました。



空の重箱より紅梅白梅がわき出るなどの和の芸



奇術の随所に繰り出される「めでたづくし」の趣向に目をみはって拍手

午後6時10分、司会の山口玲子副会長の進行によって、吉川稲美会長が登壇。「皆様、あけましておめでと〜ございませう。本日は公務ご多用の中、石原都知事、岡村会頭をはじめとする多くのご来賓の方にお出かけいただきまして、晴れやかに新年会が開催できますことを心から大変嬉しく思います。

また女性会におきましても、正副会長を始め、今年も、常任理事、理事、監事の役員が全員出席となりまして、これも女性会が一丸となってこの大変な時代とともに協力し合いながら、乗り越えていこうという強い気持ちのあらわれではないかと大変頼もしく思っております。

さて、昨年の北朝鮮による韓国延坪島への攻撃や、我が国の尖閣諸島における中国漁船の衝突事故の問題におきましては、日本人が国家について改めて考えさせられる年であったと思えます。

フランスの経済学者ジャック・アタリ氏は、日本は国と地方公共団体を合わせて860兆円という先進国では最悪の債務を抱えているにもかかわらず、国民に危機感がないと指摘しております。

もはや私たち、特に経営者は自分のまわりの事のみを目を向けてはすま



岡島敦子 内閣府男女共同参画局長



石原慎太郎 東京都知事



上條清文 東京商工会議所副会頭



岡村正 東京商工会議所会頭

されず、国という角度からものごとを考  
えなければ生きていくのが難しい時代にな  
っています。しかしながら、その一方で、  
厳しい状況に陥った原因を掘り下げ、マ  
イナスや失敗から学ぶ謙虚な姿勢を持ち  
続けることで、厳しい状況にありながら、  
明るく温かく元気な活動を維持されてい  
る企業もおられます。人間は一つ一つのた  
ゆまぬ研鑽の積み重ねの結果、自信が生  
まれ、その自信があつてこそ、謙虚な姿  
勢が生まれ、さらにその積み重ねが本当  
の強さ、感謝を生む、このことこそが日  
本精神の基になるのではないのでしょうか。

私たちは、この女性会の活動を通して  
思考の錬磨、感情の制御に努め、礼儀を  
持つて、会員相互の信頼関係、友情の絆  
を深めていきたいと思っております。そし  
て、女性会に参加することにより、輩の  
叡智をいただき、それぞれが会社に戻り  
仕事に取り組める、そのような活動を目  
指したいと思っております。

昭憲皇太后様の「しげりたるうばらか  
らたち はらひても ふむべき道はゆくべ  
かりけり」の御歌を胸に、この変革の時  
代の今をお互いに信念をもって、明るく  
温かく、強く進んで参りませんか。」との  
挨拶がありました。

続いて石原慎太郎東京都知事より「新年あけましておめでとーございます。今年はやっかいな年になりそうです。世界的にはイスラム教社会のキリスト教社会への報復という問題を抱えています。また、天変地異などの世界的な危機が続いています。

日本経済は国債への高依存により、経済力自体が衰退しているにもかかわらず、国民は案外平気でいます。これは歴代の政府にも国民自身にも責任があると思います。アメリカは自由、フランスは自由と博愛と平等というような信念を持っていますが、今日本人が持っているナショナルアイデンティティーは、我欲、です。

福沢諭吉は、立国は公ではなく私の事である。一人一人が我欲を捨てて、私自身がやるのだという気持ちで取り組まねばならない」と諭しておられました。日本の独立に関わるこのような危機に、国民がなすべき事は何か、次代につないでいくべき課題をきちんと自覚しようではありませんか」とのご挨拶がありました。

次に岡島敦子内閣府男女共同参画局長より「昨年は我が国がAPECの開催国であり、9月にはAPECの関連事業と致しまして、世界女性リーダーズネット



宴を彩る心づくしのお料理の数々



各テーブルに当たるテーブル賞に続き、会場皆様ご寄贈の個人賞の抽選にうれしい笑顔がこぼれます。



トワーク会合(WLN)が開かれました。加盟各国および地域から各界の女性リーダー1600人が集まり、女性による新たな経済活動の創造、人、自然、文化を生かすことをテーマに、様々なイベントが行われました。

我が国は、少子高齢化、人口減少という大変厳しい時代であり、これまで必ずしも社会で十分な活躍の場の無かった女性を社会に生かしていくことが求められています。女性がもっと経営に参画することにより、この生活者の視点を新たな商品やサービスにつなげ、新たな価値の創造を図り、女性の活躍による収入の増加と消費の刺激により、良い意味での経済の循環が図られることを期待しています。

女性の会がますますのご発展とご活躍を祈念しております。」とのご挨拶をいただきました。

続いて、岡村正東京商工会議所会頭より「中国がGDPで日本を抜きました。中国は毎年10%の成長率、かたや日本はマイナス成長です。そういう中で、経済力・政治力・防衛力のある中国が大国としての常識をきちんと持って欲しいと考えるとともに、日本はどうやって存在感を示

せばいいのかを真剣に考えなければいけない時です。

日本は明治維新、第二次世界大戦と大変な時を乗り越え、イノベーション(革新)を続けながら、ジャパン・アズ・ナンバーワンと呼ばれるようになりましたが、その後の20年は漂流しているような状態ではないでしょうか。日本は伝統と文化を保ちながら、科学技術で世界のトップに行く方向をとるべきで、若者が自信を持って仕事ができるようなフレーズを工夫していかなければなりません。

ここに参りますと皆様の熱気に圧倒されます。今日は、将来に向けての有効な会になりますよう、お祈りいたします。」とのご挨拶をいただきました。

次に、井上象英副会長より、来賓の方々のご紹介があり、その後上條清文東京商工会議所副会長より「今日は、新装なりましたザ・キャピトルホテル東急をご利用いただき、ありがとうございます。」

かつて会頭を務めた五島(昇)は東商女性会の大ファンでございまして、天上界から見て喜んでいるのではないのでしょうか。東商女性会は全国商工会議所女性会の中でも最大の会員数であり、また最も先進的な活動を活発に行う組織であります。

右/会場いっばいに響く元気な三本締め。今年もよい年でありますように。右下/先輩方も集まって懐かしい笑顔がひろがる。下/艶やかな着物姿で勢揃い。

畠山笑美子副会長



山口玲子副会長



東商女性会が地域の女性会の中核となり、経済を元気よく、吉川会長を中心に会員の皆様が一丸となって、華やかな中にもパワフルな活躍をお祈りして乾杯いたします。」との乾杯のご発声を頂戴いたしました。

和やかな雰囲気の中、次々と運ばれてくる華やかで美味しいお料理は懇親会用の特別メニューで、加藤完十郎総料理長より詳細なご説明がありました。和やかに会員の交流が行われる中、阿部千恵子副会長により顧問・相談役の紹介、そして新入会員の紹介がありました。

抽選会では、テーブルごとに景品の番号を引き当てると歓声が上がリ、それぞれに楽しいひと時を過ごしました。

最後に、畠山笑美子副会長より「本日はご出席いただき、ありがとうございます。今年は飛躍の年です。イベント、勉強会など盛りだくさんの行事を考えていきますので、是非まわりの皆様にお声掛けいただき、女性会にお誘いいただけますようお願いいたします。女性会は華やかなパワーでみなぎっております。ここを一つにして頑張っていきましょう。」との閉会の挨拶の後、三本締めで新春を言祝ぐ会はお開きとなりました。

# 総会

平成22年度東京商工会議所女性会総会が  
東商ビル国際会議場に於いて開催されました。

司会の井上象英副会長の進行により、吉川稲美会長が登壇し「本日はご多用の中ご来場いただきましてありがとうございます。梅雨も近い中で皆様の元気なお姿を拝見し、とてもうれしく存じます。現在東商女性会には前向きではない意見も混在しております。しかし、この女性会の危機的現状を乗り越えるよう、時代に即した新たな行動が求められています。発足当時の大変な時代を乗り越えられた先輩方の忍耐力を継承し、女性会会員全員が同じ方向を向いて一丸となつて目的に近づいていくにはありませんか。集中したエネルギーが物事を動かしていきます。努力を重ねて歴史に息を吹き込み、知恵を生かして本日の総会を粛々と進めて行きたいと存じます。」と挨拶がありました。



被表彰者の皆様

次に岡部義裕  
東京商工会議所  
常務理事が登壇  
し「組織の中で  
意見をぶつけ合



懇親会にて

いて事務局より  
総会資料に基づ  
いて説明があり、  
監事2名を代表  
して田中洋子監  
事より監査報告



小泉清子名誉会長

代の違いを乗り  
越えて、互いに  
信頼しあい、感  
謝しあい、認め  
合い、友情の結  
びつきを深くし



齋藤朝子名誉会長

がそこそこに見受けられま  
した。  
そして最後に吉川会長より  
閉会の挨拶があり、名残を惜  
しみつつも懇親会がお開きと  
なりました。

うのは大事ですが、熟成されない形で外部に出てきていることを大変懸念しております。岡村正会頭も女性会の力は東商の中で欠くことはできないと仰っております。ただ、東京商工会議所の活動は23支部の地域の活動が支えていることも事実であります。歴史と伝統ある女性会をさらに発展させていくことも大事ですが、その力で支部も支え活性化させていきたいと存じます。」とのご挨拶を賜りました。

次に、平成22年度総会における議長が吉川会長に選任され、議事録署名名人に三浦玲子会員、高橋美保会員を指名し、議事にはいりました。  
議会の審議では、平成21年度事業報告(案)、平成21年度収支決算(案)につ

がありました。再び事務局より平成22年度事業計画(案)、平成22年度収支予算(案)の説明があり、賛成多数により承認されました。

次に全国商工会議所女性会連合会表彰規則第4条および、東京商工会議所女性会表彰内規第1項に則り、市瀬優子常任理事、山口玲子常任理事、若林和子常任理事、安達昭子理事、須永明美理事、藤沢薫理事が功労者表彰されました。6名を代表して山口常任理事より「ありがとうございます。先輩方のご努力を改めて思い、心をついにさらなる発展をお誓いいたします」との挨拶がありました。

以上をもって総会を終了し、懇親会へと場を移して、畠山笑美子副会長の司会により小泉清子名誉会長が紹介され「時

ましよう。そして次の世代を作っていきましよう。」とのご挨拶がありました。  
次に齋藤朝子名誉会長より「前向きな意見をどんどん出して、仲良く発展していきましよう。」との乾杯のご挨拶がありました。

懇親会では普段なかなか話す機会のない会員同士で杯を重ね合い、役員たちとも意見交換し、和やかに懇親をはかる姿がそこそこに見受けられました。



# 第26回 関東商工会議所女性会連合会総会 さいたま大会

「大宮ソニックシティ大ホール」に  
1都8県74女性会から860名が参集



中村利雄日商専務理事を囲んで

国歌斉唱・商工会議所女性会の歌斉唱のあと、主催者の小泉清子関東商工会議所女性会連合会会長から「彩の国、埼玉県は、秩父の芝桜、石楠花、鴻巣のチューリップ、牡丹、コスモス等美しい花々をはじめとする自然の宝庫でございます。また驚くべき事に、埼玉県蕨市は、昭和21年には早くも成人式を挙行し、敗戦から立ち上がるには立派な若者を社会に送り出すことにある、との理念を實踐されたのです。私達経営者も、自分の会社に限らず、地域に深く根ざして活動し、未来ある若者の道標としての活動を継続しております。」との開会挨拶がありました。

人を代表して歓迎致します。商工会議所の創立者でいらつしやる渋沢栄一翁は、埼玉県深谷市のご出身です。」とのご挨拶がありました。

と、庄司良子水戸商工会議所女性会会長が、ハッスル黄門様、と共に登場し会場を沸かせました。

は埼玉県のマスコット「コバトン」や、さいたま市のマスコット「スウ」も登場して愛嬌をふりまきました。清水勇人さいたま市長の祝辞では、歓迎の言葉とともに特産品や、大宮は新幹線が東北・秋田・山形・上越・長野の5路線も発着しているなどの紹介があり、続く河原隆子横浜商工会議所女性会会長による乾杯のご発声で開宴しました。メニューは地産の品にあふれ、ハーブの生演奏をバックに久しぶりにお会いした会員の方たちと歓談しました。この厳しい経済情勢の中でも女性会に所属することで会員同士が切磋琢磨しながら経営者として成長し、日本経済を元気にし、社会に貢献することのできる力に、と勇気の湧くひとときでした。



小泉清子関商女性連会長

を遂げております。」のご挨拶があり、続くご来賓の上田清司埼玉県知事よりは「県民717万



熱気あふれる会場

平成22年度収支予算が承認され、次回総会開催が平成23年5月19日茨城県水戸市と決定する



大宅映子氏

会がひらかれました。小山静江さいたま商工会議所女性会会長の挨拶が始まると、両サイドに



楽しい懇親会

恒例の出席女性会紹介の後、小泉会長の議事進行によって総会が始まり①役員選任②平成21年度事業報告③平成21年度収支決算④平成22年度事業計画⑤

# 宮崎全国大会

～全国 286 女性会から、約 2500 名が集いました～

平成 22 年 10 月 16 日、宮崎市フェニックス・シーガイア・リゾート内ワールドコンベンションセンターに於いて、全商女性連全国大会が開催されました。



冒頭、主催者の吉川稲美 全国商工会議所女性会連合会会長は、口蹄疫問題への感謝と、全国大会の開催に尽力された関係各位に深い謝意を述べた後「本日、全国各地よりご参集下さった全商女性連の皆様と、宮崎県内の皆様とがお互いに助け合い、支えあう絆を強める大会となれば大変嬉しく思います。

宮崎は南国ムード漂う豊かな自然に恵まれた、神話・伝説の里でもあります。天孫降臨に始まる数々の神話の里宮崎は、日本の原点ともいえましょう。私たち人間は自然から多くのことを学んで参りました。競争ばかりの社会に疲れてしまった現代人の学ぶべきヒントが、この豊かな自然の中に、数多く生きています。

今、時代は大きな転換期を迎えています。見えない物に対する畏敬の想い、‘人・自然・文化’は、これからのキーワードとなりましょう。」と挨拶しました。

その後、岡村正 日本商工会議所会頭からは、「急激な円高に見舞われております昨今、日本商工会議所では、中小企業や地域経済の活力強化に向け、政府・国会に対し、景気対策の迅速な実施、新成長戦略の早期着手、円高対策の早急な実行等を強く主張いたしてきております。

我々も今こそ商工会議所の出番だという気概を持って、全国の商工会議所がより一層連携し、総力をあげて商工会議所の使命、役割を果たしていく必要があります。

また、11 月 11 日は、横浜におきまして、APEC 中小企業サミットが開催されますが、皆様にはご参加いただきまして、国際交流を深めていただきたいと思います。」と結ばれました。

開催地の高柳節子 宮崎県商工会議所女性会連合会会長からのご挨拶の後、菅直人 内閣総理大臣からのメッセージ、東国原英夫 宮崎県知事の祝辞が代読され、来賓の滝本徹 経済産業省九州経済産業局長、戸数正 宮崎市長からお祝いの言葉を頂戴しました。

続いて、恒例の出席女性会の紹介が行なわれ、全国から参集した各女性会の華やかにして力強いエールの交換がなされました。

その後は、第 9 回女性起業家大賞授賞式に移り、最優秀賞他 2 部門の発表が行われ、受賞者代表の阪本恵子氏が、受賞の辞を述べられました。また全商女性連表彰授与式、宮崎県 口蹄疫被害に対する義援金募金の贈呈式が行なわれました。

最後に次回開催地である浜松市より鈴木康友市長の歓迎メッセージを頂き、吉川会長から全商女性連会旗が浜松商工会議所女性会へ引き渡され、閉会となりました。



## 「鐘が鳴り響く瞬間」 ～ディズニーとともに 30 年～

講師：株式会社オリエンタルランド取締役常務執行役員  
株式会社ミリアルリゾートホテルズ代表取締役社長  
高野由美子氏

宮崎県西都市出身の高野由美子氏に、女性トップリーダーとしての哲学をうかがいました。



## 神話の里・青い海・緑の大地みやざき

宮崎全国大会に参加して：会員 後藤愛子

大会前日の 15 日に同会場で行われた懇親会は、笛や鼓の音と共に神話の天岩戸を題材にした‘高千穂神楽’で始まりました。

東国原知事の乾杯のご発声で、宮崎特産の食材を豊富に使ったお料理と銘酒を囲む宴となり、和やかな雰囲気の中、会場内を練り歩く‘ひょっとこ踊り’などの温かいアトラクションも滞りなく行われました。

宮崎女性会の高柳会長と、知事の、どちらのご挨拶の中でも「この度の口蹄疫問題で、全国女性会の皆様の心温か

いご支援のお陰で勇気づけられ大変感謝しております。」との御礼の言葉があり、助け合いの精神と思いやる心は大勢の人達の力となり、互いの心が応え合う様は、壮観そのものと感心しました。一人で頑張るよりも、大勢のこの女性の底力を感じることこそが仕事面での勇気にも繋がります。

不景気で暗いイメージしかない昨今、宮崎県内 85 の企業・団体が出展する物産展では熱気とパワーがみなぎり、お買い物風景はまさに圧巻、本当に不景気かなと感ずるほどでした。宮崎女性会の皆様大変お世話になりました。



# 東京商工会議所女性会交流部主催 宮崎全国大会エキスカーション

悠久の神々のふる里でパワーを授かり！  
雄大な自然の営みからエネルギーを吸収！

10月17日、朝7時30分に宿泊ホテルを出発、今回は東商女性会交流部が初めて主催する全国大会後のエキスカーションで、ありがたいことに武蔵野商工会議所女性会の5名様にも参加いただき総員37名で高千穂、白川水郷、阿蘇山を巡りました。

晴天に恵まれて、宮崎市から日向一延岡一高千穂までの

車中、吉川会長のご挨拶に始まり、参加者全員が自己紹介をしました。それぞれのユーモラスな紹介で、車中が和気あいあいの雰囲気になってゆきました。

10時半に天岩戸神社に到着参拝。まわりの雰囲気はまさに天孫降臨の地。宮司さんの案内を伺いながら特別拝観するご神体の天岩戸に、そこにお隠れになった天照大神と神代の時代に思いを馳せた方もいたことでしょうか。ここはパワースポットとしても有名な場所ですから、今まで以上のパワーが蓄積されたことと思います。このあと高千穂峡近くのかやぶき民家「神楽宿」で郷土料理を味わい、土地ならではの昼食は好評でした。

食後には高千穂峡の長い階段を皆さん元気に下り、溪谷沿いに散策しました。柱状

摺りの岩、白く細く落下する真名井の滝、紺碧色に淀む流れ、調和するこれらの自然は神話の世界を彷彿とさせる景観です。悠久の緑したたる地を後にして、今も活発な火山活動を続ける阿蘇中岳に向かいました。熊本県に入り、途中阿蘇の伏流水で有名な白川水源に立ち寄りしました。透き通る湧き水の流れは本当に心を和ませ、多くの方がペットボ

トルに水を汲み上げ、自然の恵みに喉をうるおしました。

めったに見る事の出来ない阿蘇五岳とそれを囲む外輪山の山々を、全部望む事が出来ました。中岳の火口を見物できるのは晴天であること、有毒ガス噴出がないことが条件で、何よりガスが心配でしたが、ロープウェイで頂上に着くと、なんと！今まで出ていた警報が解除され、火口ま

まで行くことが出来たのです。周囲4km深さ150m、火口の底から吹き上げる猛烈な噴煙とエメラルドグリーン

の火口底というダイナミックな景観を、十二分に堪能することが出来ました。本当に幸いなことでした。順調に旅行を楽しめたのは、ご参加皆様の協力と、道中を面白可笑しく案内してくれたベテランのガイドさん、見えないところで心配りと安全運転をしてくれたドライバーさんのお陰で、旅の終わりにも素晴らしいサプライズがありました。熊本空港に向かう途中バスが停まったドライブインには、何万本ものコスモスが今を盛りと咲いていたのです。夕日に照らされ山を埋める花の綺麗だったこと。旅のしめくりには最高の光景で皆さん大喜び、楽しくお買い物も終わりました。

旅行中は互いにうちとけ、また一段と交流の輪が広がりました。熊本空港にも時間どおり到着し帰路につきましたが、もう一つご担当者の骨折りで「宮崎県産品5種類のお土産」を皆さんが持ち帰りました。これは大勢の皆様のご参加の賜物でした。



## 東商経営アカデミー・特別編 「東国原英夫宮崎県知事 特別講演」

10月30日、女性会からも多数が参加し、東商ビルにて東国原宮崎県知事の特別講演が開催されました。

冒頭で東国原知事は、宮崎県を急襲した口蹄疫被害との苦しい戦いと、全国から寄せられた励ましにふれ、全国商工会議所女性会連合会・宮崎全国大会に、多くの女性会員が訪れて産物の買い物を楽しんだ事も「宮崎が立ち上がる明るいきっかけとなった」と感謝の言葉を述べられました。そして、「今後の日本におけるより良い危機管理のありかたに」とブラスの発想で県民と共に努力した日々を語られました。

また、家に初めてきたテレビでお笑い芸人や政治家を見て「人を幸せにする仕事をしたい」という自分に気づいたという幼少の頃のエピソードなどを紹介されました。

講演終了前には、吉川会長から、宮崎訪問の際に感じたホスピタリティへのお礼が述べられ、外に降る雨に負けない明るく有意義なひと時となりました。



# 東京商工会議所女性会研修部主催 「スプリングセミナー」

平成 22 年 3 月 24 日 13:30 ~ 19:00 東商ビル

開会に先立ち吉川会長より「景気も冷え込む昨今、どう対処しようかと悩むとき、先人・先輩の話を自分の事業に生かしていくことはひとつの指針となります。」との挨拶がありました。

## 研修1 先人の教えに学ぶ

### 「父母に孝に 兄弟に友に

～吉田松陰生誕 180 年に当たり～

慶応大学名誉教授・平成国際大学名誉学長 中村 勝範 氏

長州の貧しい下級武士の次男に生まれた吉田松陰：文政 13 年 8 月 4 日～安政 6 年 10 月 27 日(1830～1859)は、



6 歳で藩の兵学師範である伯父吉田大助の養子となり、次年に義父の急逝で、もう 1 人の伯父の玉木文之進から兵法を学びます。11 歳の時の毛利家御前講義で、史実に即して兵法を話すのがおもしろいとその名が知れ渡りました。友情に厚く、九州の宮部鼎蔵との東北地方視察の際、関所手形が届かぬまま出発日の約束を優先し、脱藩の罪を犯します。

その後出獄を許され、故郷の萩

で謹慎中「松下村塾」で 80 名余の後進を指導しました。1854 年、欧米列強に耐え得る日本を目指す学究をと、黒船に密航を図り失敗。安政の大獄により 29 歳で小塚原の露と消え、無縁寺・回向院に埋葬されました。獄中も執筆を続け、短い生涯に大きな影響力で数々の偉人を育て、近代日本の礎を作ったとして現在も慕われています。

企業内研修という、ともすれば技術や知識の習得のみが目的となり、人としての基本を教育する企業が少なくなりました。しかし、人間教育はすべてに優先し、人としての基本をしっかり身につけてこそ、技術や知識が意味あるものになります。

日本には特別な宗教教育はありませんでしたが、新渡戸稲造氏がその著書、『武士道』(The soul of Japan) で世界に紹介したように、道徳としての武士道がありました。正義の心を持ち、世のため、人のために尽くし、仁徳ある人になるよう鍛錬を重ねることが武士道であり、時を超えて現代のリーダーにも求められる原則といえましょう。

## 研修2 地球環境を考える

### 「経営者に今必要な環境への取組み

～ラムサールと湿地から考える～

ラムサールセンター事務局長 中村 玲子 氏

ラムサール条約とは「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」で、1971 年にイランのラムサールにおいて締結されました。これは環境に関する国際条約の先駆で、湿地生態系そのものを対象とし、159 カ国が加盟しています。

日本の登録湿地は、釧路湿原、尾瀬、琵琶湖等 37 ケ所。世界中では 1887 ケ所に及びます。

地球環境を守る国際的な NGO に IUCN (国際自然保護連合：本部スイス 1948 年設立) があり、ラムサールセンターもそこに登録しています。

ラムサールセンターは、1990 年設立で、約 100 名の個人会員のうち 25% が日本以外のアジア人です。数名の無給スタッフと学生スタッフにより、日本とアジアで湿地の賢明な利用を普及するべく、教育や啓蒙活動を行っています。

各大学や環境省と「アジア湿地シンポジウム」を共催した他、アジア・アフリカや日中韓の「子ども湿地交流」もを行っています。

1992 年、地球上の生物の多様性を包括的に保全することで豊かな環境を守ろうとする「生物多様性条約」が締結され、2 年に 1 度の締約国会議の 10 回目目が 2010 年名古屋で開かれ、子ども達も「KODOMO バイオダイバーシティ」として参加します。

### ● 地球環境保全に貢献するには？ ●

1. まず、関心を持つこと。
2. できることから行動すること。
3. 寄付をすること。〔地球環境保全基金に寄付をすると、適正に各活動に配分。〕
4. パートナーシップ事業を始める。
5. 勉強会や講演会を企画する。など



## 懇親会

講師の中村玲子氏にもご参加いただき、美味しい料理とワインに会話のはずむ楽しい立食パーティとなりました。



# 日本科学未来館 視察会・交流会

東京・武蔵野・町田商工会議所女性会連携事業として、日本科学未来館に於いて合同視察会・交流会が行われました。

日本科学未来館 (<http://www.miraikan.jp>) は新橋からゆりかもめに乗

り「船の科学館駅」から徒歩で5分、「テレコムセンター駅」からは徒歩4分です。東京湾の近くながらも敷地は広く、都心からは別世界の感があります。夏休み時期ということもあって、涼しい館内は子供達で賑わっており、親子連れも多くみられました。

術者、科学コミュニケーター、ボランティア等との直接の交流を通して、科学をもっと身近に感じていただくための場でもあります。また先端の科学技術に関する情報発信拠点としての機能を持ち、国内外のネットワークを広げつつ、様々な活動を展開しています。

日本科学未来館は、2001年に「科学がわかる 世界がかわる」というスローガンのもと、科学技術を文化として捉え、私達の社会に対する役割と未来の可能性について考え、語り合うすべての人々のためにひらかれた場を、と言う理念により設立されました。来館者が自分自身で触れて楽しむことができる参加体験型の展示が主となっています。

この日の出席は、東京26名、武蔵野8名、町田10名、事務局5名でした。吉川稲美会長の紹介により、小中元秀日本科学未来館副館長から歓迎のご挨拶を頂きました。それからグループごとに別れて、「地球環境とフロンティア」「スーパーカミオカンデ」「月惑星探査計画」、現在運航中の有人潜水調査船としては世界で一番深く水深6,500mまで潜ることができる「しんかい6500」、2度の宇宙飛行を経験した毛利氏が「宇宙から見た輝く地球の姿を多くの人と共有したい。」との思いから生まれ

たシンボル展示「Geo-Cosmos」と回り、ロボットワールドでは、自動車とロボットが融合した未来の乗り物で、走ると同時に「歩く」事も出来るビークルロボット「Huluc II+Hull」やヒューマノイドロボット「ASIMO」(アシモ)の実演見学をしました。

自由見学では特別展「ドラえもん の科学みらい展」も併設中で、多くの人々の感動を呼んだ「はやぶさカプセル公開イベント」等、科学になじんだ方もそうでない方にも充分楽しめる内容でした。特に、カプセルの分離に成功し、7年ぶりに大気圏に戻った「はやぶさ」のサンプルリターンイベントは、今の時代を生きる私達に、あきらめないことの大切さ、を教えてくれた気がします。

よる懇親会が開催されました。合同開催の趣旨からそれぞれの女性会の方々が交流を深めやすい工夫が凝らされ、吉川会長の挨拶、間野百合子武蔵野商工会議所女性会会長の乾杯のご発声に始まり、ご出席の各女性会会員の皆様方との自由で楽しい歓談が展開されました。そして、和気藹藹のムードの中、三澤ミイ子町田商工会議所女性会会長の

後、17時からは同館7階のレストラン「ラ・テール」で着席ビュッフェスタイルに



れ、科学者、技  
利衛氏が務めら  
て活躍された毛  
宇宙飛行士とし  
います。館長は、



経 験 した 毛 利 氏  
が「宇宙から見  
た輝く地球の姿  
を多くの人と共  
有したい。」との  
思いから生まれ



視 察 会 終 了  
後、17時からは  
同館7階のレス  
トラン「ラ・テ  
ール」で着席ビュ  
ッフェスタイルに



商 工 会 議 所  
女 性 会 会 長  
の 中 締 め に よ  
り、 合 同 視  
察 会 ・ 交 流  
会 は 終 了 し  
ま した。



# 東京商工会議所女性会社会貢献部主催 「勉強会」

社会貢献部では様々な社会貢献のあり方について勉強しております。  
私たちだけではもったいない…そんな思いから皆様へお知らせしました。

## 「かけがえのない子供達と50年」

講師：社会福祉法人青少年福祉センター  
専務理事 長谷場 夏雄氏

平成22年4月27日 東商ビルにて、  
社会貢献部主催の第1回勉強会が行なわれました。

長谷場氏は満州の鞍山で両親を亡くされ、弟さんの手を引き昭和22年16歳で帰国後、施設から学校に通って父君と同じ英語教諭の職に就かれました。しかし後輩の戦災孤児達の「学校の寄宿舎を出た俺達は宿無しだから、泊まれる所を作ってよ。」の一言で、昭和33年に豊島区に四畳半のアパートを借り、皆で働いて自活する福祉センターを始められました。

設立直後より吉田茂元首相三女の麻生和子氏や、聖心女



子学院のシスター岩下などとの偶然の出会いから支援を受け、施設の充実を図りながら、子供の自立支援を促すために技術や資格の取得を重要視した教育を行ってきました。

長谷場氏は、「世の中が豊かになった今でも、不思議なことに施設に入る子供の数は終戦直後と変わりません。しかし、その原因は大きく異なっています。つまり家庭に問題があるのです。私たちはどのような時代であろうと、人の優しさがわかる心根の優しい子が第一と考えています。心は後から育てられますが、愛は後から育むことはできないからです。

社会生活で一番大切なのは人間関係を作る能力です。私たちは収入確保の能力と、社会に出てから社会活動に参加できる能力が身につく教育をしています。このような自立支援はその子の存在価値を認めることによって築かれる信頼関係なくしてはできません。

後の世代に「僕はできるだけやったから、あとはよろしく頼む」と言って引き継ぎたい。そして彼らも少しずつでも良くなっていて、日本の社会を立派にしてほしいですね。」との言葉で、講演を締めくくられました。



## 「国際母子保健活動について～ウガンダの母子保健事業を通して～」

講師：葛飾赤十字産院看護副部長 内木美恵氏  
日本赤十字社事業局国際部開発協力課課長 斎藤之弥氏

平成22年5月21日 東商ビルにて、  
社会貢献部主催の第2回勉強会が行なわれました。

内木美恵 葛飾赤十字産院看護副部長を講師にお迎えし、世界の母子保健の現状と乳幼児死亡の37%が新生児である状況について伺いました。そしてまた、斎藤之弥 日本赤十字社事業局国際部開発協力課課長からは、国際活動についてご説明を頂きました。

赤十字は、金銭や物品のみの協力とは異なり、実際現地に赴いて貢献する事を活動の基本方針とし、ネットワークの広さを発揮して発展途上国における健康指導や治療、必要な設備の投入等を実施することにより、国連ミレニアム目標の達成に貢献しています。また、日本の近衛忠輝氏が現在、国際赤十字・赤新月社連盟会長を務められています。

内木氏は、「ウガンダでの母子保健事業プロジェクトは、平成22年から3年間の予定です。豊かな自然環境とはいえ、紛争を重ねた後遺症は深く、兵士による少女拉致被害の傷跡や、都市部でのディーゼルによる環境汚染といった

多くの問題を抱えています。」と話され、更に「日本赤十字は、ウガンダ赤十字において、多くの国籍のスタッフと協力しながら、生活に密着した様々な問題を、同国の文化・習慣と共存させつつ解決し、健康で安全な生活をおくれるよう日々努力しています。」と結ばれました。

勉強会は、竹ノ内リーダーの「拝聴して他国の実情の厳しさに驚くとともに、我々が如何に恵まれているかを再認識しました。今後どの様な貢献ができるのかを更に考えて行きたいと思います。」という言葉で閉会となりました。



各国にて医療支援活動を行うほか、ウガンダの母子保健事業テクニカルアドバイザーとしても活躍中の内木美恵氏

社会貢献部

# チャリティティコンサート

東京商工会議所女性会創立60周年記念シンポジウムのテーマ「I have a dream」を引き継ぎ「かけがえのないあなたへ…」をテーマとし、平成22年9月13日相田みつを美術館に於いて相田一人相田みつを美術館長のトークショーといのちの音楽を奏でるハーピセラピスト中野智香子氏によるコンサートを開催いたしました。

当日は、定員の150名を超える皆様のご出席を賜り、吉川会長の挨拶の後、井上副会長から本日の趣旨説明がありました。

トークショーでは相田館長の幼少の頃のお父様（みつを氏）との思い出がユーモア豊かに語られ、会場は和やかな笑いに包まれました。

コンサートではオペラ・アリアファンタジー、アヴェマリア、日本の子守唄に寄せて、虹の彼方に、星に願いを等が曲間の優しいトークを交えながら演奏され、重厚感のあるハープの音色に魅せられた観客から温かい拍手を頂く事ができました。

また、会場には募金箱を設置。大勢の

方のご厚意を頂き、寄せられました寄付金は60周年記念シンポジウムの時と同様に東京善意銀行に寄付させていただきました。

終演後、休館日にも関わらず環境の整った会場をご提供いただきました相田館長より「このような形でこの美術館を使っていただけでうれしいです。」とお言葉をいただいたときはお世話になって本当に良かったと思えました。

そして「夢はでっかく根は深く」と相田みつを氏の書が印刷されたチケットの半券は、本のしおりとしてご利用くださるようにとご来場の皆様にご案内しましたところ、皆様様に深くうなずかれて入場されましたお顔が印象的でした。

初めてのチャリティコンサートということで暗中模索ではありましたが、社会貢献部として井上副会長、竹ノ内社会貢献部リーダー、サブリーダーを中心に力を合わせ、成功裏に終える事が出来ました。お世話になりました皆様に心より御礼申し上げます。



## 出演者プロフィール

### 相田一人

あいだ かずひと

1955年（昭和30年）、栃木県足利市に相田みつをの長男として生まれる。父みつをの死後に見つかった日記には、「気骨ある人に成長するように、何事も一人でやっていけるように、一日も早く一人立ちできるように」という願いをこめて「一人」と命名した。また、転じて後人生の孤独、寂寥、悲哀等を一人で堪えてゆかねばならぬ時の事を考えて、あえて「一人」と名付けた次第なり」と命名の理由が記されている。

1996年（平成8年）、東京都中央区銀座に相田みつを美術館を開館、館長に就任する（美術館は、2003年（平成15年）、千代田区丸の内にある東京国際フォーラムに移転）。

### 中野智香子

なかの ちかこ

京都府出身、国立音楽大学卒業。ヨゼフ・モルナール、井上久美子両氏に師事。1985年「ワールド・ハーブ・コンGRESS」（イスラエル）でエレクトリック・ハーブを初演。野外等での星空コンサートから日本の古典芸能とのジョイント・コンサートなど、今までのクラシック・ハーブの概念を越えた夢のあるコンサートを作り上げている。

1984年より胎嚶コンサートを始め、セラピストとしての音楽療法を開始。

クラシックハーブという難しい印象の楽器を多くの人々に体験して欲しいという願いのもとに、「自然の響き フェアリーハーブを弾こう運動」を展開している。

## チャリティコンサート 募金結果報告

会場内に設置した募金箱の募金、  
および事業収益金を寄贈

寄贈先：社会福祉法人  
東京都社会福祉協議会  
東京善意銀行

金額：70,000円

# 「女性経営者交流会」

## in 福島

電気の生産地と消費地。離れていてもご縁は深い。  
今回は福島第二原子力発電所を訪れ、  
エネルギーに関する理解を深めました。

電気の生産地である福島県・新潟県と、消費地の首都圏との交流を目的にした、女性経営者交流は、毎年、東京・新潟・福島のいずれかで開催されています。今回はin福島ということで、福島第二原発の見学となりました。

12月10日、雲一つない快晴の朝、東京商工会議所から24名の女性会会員を乗せたバスが発しました。途中、2回の休憩をはさんで、12時に富岡町健康増進センターリフレ富岡に到着。新潟の女性会の方と合流し、地のものを使った昼食に舌鼓を打ちました。その後原子力と電気の偉人、アインシュタイン・キュリー夫人・エジソンの生家をモチーフにした、東京電力エネルギー館に移動し、実写とCGを使って原子力発電所のしくみや役割を説明するサイエンスシアターで素晴らしい映像コンテンツを拝見しました。

その後、再びバスに乗り、福島第二原子力発電所へ。ここでは発電所に勤務している



方勤務サイクルのお話を伺った後、その日が訓練のチームによるシミュレーター・デモを見せていただきました。この日は、1.落雷により送電が停止。2.地震により送電がストップ。という2つのアクシデント復旧デモで、ドラマを見ているような臨場感と緊迫感があり、私たちがいつも安心して電気を使わせていただいている裏側にはこのような厳しいトレーニングがあるのだと知ることができました。



この日の宿泊先は、福島県楢葉町にある日本最大規模のサッカーのナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」。全日本の天然芝ピッチを有し、日本代表・Jリーグクラブなどのトップチームから草サッカークラブまで幅広い層の合宿施設です。チェックイン後、講演会場に移動し、講師の美肌師



佐伯チズ氏をお迎えしました。佐伯チズ氏の講演のテーマは、「67歳でもファン」

「今日からできる美白」ということで、きれいのコツや、コットンを使ったローションパックやクレンジング、スキンケアの基本を教えてくださいました。ちなみに、きれいのコツは「食べること」と「続けること」で、「明日から」はNGワードだそうです。

楽しい講演の終了後、懇親会までの時間を、ロビーにて開かれた地元女性会による物産展で、福島ならではの野菜や果物などを買い求め、懇親会では珍しいスパークリング日本酒で乾杯し、各地の方々と楽しく親交を深めました。

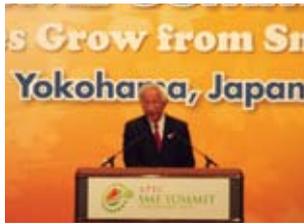
翌日11日は、田村市滝根町にあるあぶくま洞に。主催者の方がご用意くださったカップを着用し、完全防寒で臨みましたが、鍾乳洞内の温度は年間を通して15度

に保たれており、さらに、探検コースを選ばれた方は寒いどころか汗だくなり、かなりの

運動量となりました。その後はレストハウスあぶくまで、熱々のうどん汁や山菜、シソの仲間のじゅうねん(エゴマ)を使った心づくしの昼食をいただきました。お店の方の料理の説明を聞きながらいただくことで、より一層味わい深いものとなりました。

午後は、高村光太郎の「智恵子抄」にも詩われた安達太良山を臨む二本松市にある奥の松酒造を見学。その後、前日の懇親会でいただいたスパークリング日本酒や、おいしい日本酒をたくさん購入し、一般のお客様を圧倒するパワーを発揮しながら、東京への帰途へ。お弁当やお土産までご用意いただき、知識もふれあいもいっぱい、至れり尽くせりの有意義な旅となりました。





岡村正日商会頭

でも企業数に大きな割合を締める中小企業が、国に求める貿易規制の緩和や金融政策への提言が共感をよ

れた大ホールで、港横浜の美酒と素晴らしい料理に、夜更けまで語りあう姿が見られました。



井上裕之日商特別顧問と参加者

「技術」、「国際化」という具体的な内容のパネルディスカッションで、どの国も企業数に大きな割合を締める中小企業が、国に求める貿易規制の緩和や金融政策への提言が共感をよ

術館で行われ、国内外の彫刻美術に囲まれた大ホールで、港横浜の美酒と素晴らしい料理に、夜更けまで語りあう姿が見られました。

後半は、中小企業の課題である「資金調達」や

懇親会は会議場向かいの横浜美術館で行われ、国内外の彫刻美術に囲まれた大ホールで、港横浜の美酒と素晴らしい料理に、夜更けまで語りあう姿が見られました。

「APEC 中小企業サミット」に参加  
最後は、参加した中小企業経営者間で共有された認識として「APEC 中小企業サミット2010」の総括が発表され、閉会しました。

## 「APEC 中小企業サミット」に参加

国を超えた企業のコラボレーションや誘致の声があがっていました。

2010年秋、横浜を中心に行われたアジア太平洋経済協力会議（APEC）に合わせ、日本商工会議所が横浜ロイヤルパークホテルにて主催した11月11日のAPEC中小企業サミットに、東商女性会からも多数が出席しました。岡村正日本商工会議所会頭の挨拶と「大樹も小さな種から」という今回のテーマに、各国関係による基調講演や経済政策の説明が続ぎ、25のAPEC参加国と地域より集まった約600名の参加者からは、女性を中心に盛んに英語での質問が飛び交いました。

び、起業や企業継承の今の気風も、こぞつて上場から変化し、個を活かす多様性が見られました。ITの活用で、起業家間の地球規模での交流や、企業と消費者との交流、経営者の社員や社会との交流が活発化し、実践の段階に入った、個が光るイノベーションには、若年人口増加中の国々から、国を超えた企業のコラボレーションや誘致の声があがっていました。

## 「一貫論語塾」のご案内

洪沢栄一翁が愛した「論語」  
変節の時代だからこそ 論語を学んで  
私たちが人間力を養いませんか？

現在、東商女性会では「先人の知恵に学ぼう」という趣旨から「論語」の勉強会を計画しています。商工会議所の創立者でもある洪沢栄一翁が論語を経営に生かしたことは有名ですね。

講師としては、論語普及会を設立され、95歳の現在も論語の権威として精力的に講演活動をしておられる伊與田 覺氏を予定しています。

二度とないこの貴重な機会に、論語をご一緒に学びませんか？

第1回（全4回予定）

◆日時：平成23年4月9日（土）10:00～12:00

◆場所：国際文化会館

◆内容：論語に学ぶ経営学

※詳細につきましては決まり次第お知らせしますのでどうぞ楽しみに！



### 講師プロフィール

伊與田 覺（いよた さとる）論語普及会学監  
大正5年（1916年）高知県生まれ。学生時代から安岡正篤氏に師事。1962年、論語普及会を設立、学監として論語精神の昂揚に尽力する。

## “東商女性ゴルフ会”について

8年間で全23回のコンペを実施してきたゴルフ同好会が、今回交流委員会のもと“東商女性ゴルフ会”としてリニューアルされました。

これまでの歴史を重ねて下さいましたゴルフ同好会会長、副会長、

また幹事役員の方々には、

こころより感謝を申し上げます。

また、今後も楽しい会になるよう、今までの御経験を生かしたお力添えを

いただけますようお願い申し上げます。次第です。

これからも年3回のゴルフ会開催を

予定しておりますので、

どうぞ皆様お気軽にご参加ください。

### 開催予定

#### 第24回 東商女性ゴルフ会 コンペ

◆開催日：平成23年4月8日（金）

◆場所：武蔵カントリークラブ笹井コース  
埼玉県狭山市大字笹井 412

※その他詳細は後日ご案内いたします。

# 東商女性会 4委員会と1担当 活動のご案内

企画や運営に参加しながら行事を楽しむと、喜びは2倍、3倍になります!

委員会・担当名 (敬称略)	リーダー	活動目的と具体的な活動
<b>交流委員会</b> 委員長：島山笑美子 (副会長) 副委員長：志摩淑子 (常任理事) リーダー：中島早苗 (理事)	 中島早苗	◆会員間の交流・親睦を深めるための諸活動 ◆各地の商工会議所女性会等との連絡・提携 ・全商女性連全国大会への参加促進 ・他団体との交流 ・ゴルフ会 など
<b>研修委員会</b> 委員長：山口玲子 (副会長) 副委員長：清水洋子 (常任理事) リーダー：松平洋史子 (理事)	 松平洋史子	◆各種講演会、懇談会、研究会等の開催 ◆内外の展示会、見本市、優良企業の視察見学 ・女性経営者向け 研修会の企画運営・講演会の企画運営 ・先進企業の視察会の企画運営 など
<b>社会貢献委員会</b> 委員長：井上象英 (副会長) 副委員長：竹ノ内みえ子 (常任理事) リーダー：植谷佳子 (理事)	 植谷佳子	◆社会福祉事業の研究と協力 ・チャリティイベント企画運営・他団体実施の社会貢献活動への参加 ・会員向けの社会貢献啓発活動 など
<b>ビジネス事業委員会</b> 委員長：阿部千恵子 (副会長) 副委員長：野地英子 (常任理事) リーダー：作田智子 (理事)	 作田智子	◆女性経営者としての企業の経営改善のための調査・研究 ・会員間のビジネス交流事業企画運営 ・会員のビジネス面のPR機会の創出 など
<b>広報担当</b> リーダー：椿 克美 (理事)	 椿 克美	◆東商女性会活動の内外へのPR ◆情報化による会員間のコミュニケーション促進策の検討 ・機関誌「東商 Lady」発行・女性会 Web サイト運営 ・女性会主催各種イベントの取材や記事執筆、編集 など

平成22年11月の役員改選に伴い、新役員が選任されるとともに、各事業の企画・実施を担当する4委員会・1担当による新体制の活動がスタートしました。  
 会員の皆様におかれましては、各委員会等の活動に積極的にご参加いただきたいと存じます。

女性会役職	氏名	会社名	役職
会長	吉川 稲美	株式会社吉香	代表取締役社長
副会長	井上 象英	株式会社象英企画	代表取締役社長
副会長	阿部 千恵子	株式会社アブリコト	代表取締役
副会長	山口 玲子	株式会社フジ	代表取締役
常任理事	久家 道子	株式会社ヴィヴンレイ	代表取締役社長
常任理事	清水 洋子	株式会社久家道子エンプロイダリー	代表取締役会長
常任理事	野地 英子	株式会社清水屋	取締役副社長
常任理事	志摩 淑子	有限会社島田小割製材所	取締役
常任理事	志摩 淑子	株式会社朝日写真ユース社	代表取締役会長
常任理事	新井 英子	株式会社サンシユウ	取締役
常任理事	植谷 佳子	株式会社木場リサイクル	代表取締役社長
常任理事	植谷 佳子	有限会社松栄興産	社長
常任理事	新井 英子	株式会社樹林	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	株式会社天津クレーンエンジニアエンジニア	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	株式会社ワエスト	代表取締役社長
常任理事	志摩 淑子	平原商事株式会社	代表取締役社長
常任理事	志摩 淑子	株式会社マネジメントサポート	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	プリメーラ株式会社	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	加勢造園株式会社	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	サンピタルクリニック	院長
常任理事	志摩 淑子	貴宝石株式会社	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	有限会社椿建築デザイン研究所	取締役
常任理事	志摩 淑子	アムアレイ計画株式会社	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	みなとアドバイザーズ株式会社	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	有限会社諏訪トラスト	取締役副社長
常任理事	志摩 淑子	株式会社フライントホープ	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	株式会社麻布タマヤ	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	未来プランニング株式会社	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	有限会社社長野屋	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	株式会社マエタ	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	弁護士 松江仁美法律事務所	所長
常任理事	志摩 淑子	株式会社養バル	代表取締役社長
常任理事	志摩 淑子	東京成業工業株式会社	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	株式会社イーエムジャパン	代表取締役
常任理事	志摩 淑子	株式会社大昭国際旅行社	代表取締役社長
常任理事	志摩 淑子	須永公認会計士事務所	所長

## 東京商工会議所女性会 役員

平成22年11月16日現在 ※○印は新任 (敬称略)

## COVER PHOTO

撮影者 山口真由美

1964年神奈川県生まれ。茅ヶ崎北陵高校在学中に写真を始める。  
現在は編集プロダクション勤務の傍ら、ライフワークとして近代建築や古  
代史ゆかりの地などを撮影している。

### <伸びゆく TOKYO >

庭に見つけた花芽、柱の傷に見る我子の背、伸びゆくものへの期待と一種の畏怖  
の念は、生物である人の本能と、万物の霊長ならではの想像力の両方をかきたて  
る。隅田川白鬚橋上流より東京の東部を望むと、筒井筒の業平の町で、新しいラ  
ンドマークが風の中に己の身を研いでいる。



## 行事 東商女性会今後の予定 平成 23 年

開催月日	内容	場所
3月11日(金)	東京商工会議所女性会・ 関東商工会議所女性会連合会共催 香山リカ氏講演会	東商ビル
5月11日(水)	歌舞伎観賞会 (予定)	
5月19日(木)	関東商工会議所女性会連合会 第27回総会 水戸大会	水戸プラザホテル (茨城県)
6月13日(月)	東京商工会議所女性会 総会・懇親会	東商ビル
10月6日(木)・7日(金)	第43回全国商工会議所 女性会連合会 浜松全国大会	アクトシティ浜松 (静岡県)

## 訃報

平成 22 年 7 月 24 日 (土)

常任顧問・元副会長 石井須美様 (享年 95 歳)  
(三和電気工業株式会社 名誉会長)

平成 22 年 9 月 11 日 (土)

顧問・元副会長 山野壽子様 (享年 64 歳)  
(株式会社ビューテイトップヤマノ 代表取締役副会長)

## この冊子に携わった人々

安達 昭子	大津 洋子	尾身 朝子
後藤 愛子	佐々木 順子	佐藤 光子
志賀 律子	志摩 淑子	鈴木 紀子
須永 明美	高田 悦子	竹ノ内 みえ子
田邊 衛子	槌谷 佳子	中西 志保美
林 香都恵	藤岡 実佐子	松江 仁美
武藤 正子		

(以上お名前は 50 音順)

田中 L. 洋子 椿 克美

## 募集

### ○あなたも記者に!

あなたの東商女性会イベントでの思い出を、冊子やホームページ  
の中に残しませんか? 『東商 Lady』と東商女性会ホームページで  
は、会員皆様のご投稿をお待ちしております。

- ・記事は、“です・ます調”で統一して下さいますようお願い致します。
- ・写真は5枚程度を各自で選択のうえご提出ください。  
(記事だけでもOKです。)
- ・記事・写真の提出締切は、イベント開催日から7日後までです。
- ・『東商 Lady』のバックナンバーは、ホームページよりご覧いただけます。

女性会ホームページ: <http://joseikai.tokyo-cci.or.jp/>

### ○表紙写真募集中!

『東商 Lady』の表紙を随時募集中です。

- ・原則として、デジタルデータでやり取りできる事を前提とします。
- ・ある程度解像度の高いものが要求されます。  
(画素数が10.0メガ以上で最高画質)

応募とお問い合わせは、[women@tokyo-cci.or.jp](mailto:women@tokyo-cci.or.jp) 宛お願い致します。

## To the Readers

今期より東商女性会情報広報部は東商女性会広報担当と名称が  
変わり、リーダーも今までの田中から椿理事へとバトンタッチ  
されました。多くの方々、特に部員の皆さまに支えられながら  
の3年間が過ぎ、これからは支える側として、新リーダーと仲  
良く一緒に編集後記を書いています。共にこれからの石の上にも  
三年、照れることなく‘女性と社会’を語ってゆきます。

..... 東商女性会 広報担当サブリーダー: 田中 L. 洋子

インターネット、略してネット。あつという間に私たちの生活に  
浸透し、連絡をとるのも、調べ物をするのも、買い物をするのも、  
人との出会いまでも、すべてネット上で簡単に行うことができ  
ます。私たち広報担当もネットを駆使して情報を交換し、東商  
Ladyや女性会HP作成に有効活用しております。しかし一方で  
ネットの便利さを享受しつつも人とのふれあいの温かさを忘れ  
ない広報担当でありたいと思っています。

..... 広報担当リーダー 椿 克美

INDEX

- 02 会長挨拶
- 04 副会長挨拶
- 06 常任理事より ひとこと
- 07 東商女性会組織図  
平成 22 年度（臨時）総会
- 08 新年懇親会
- 12 平成 22 年度総会
- 13 関商女性連さいたま大会
- 14 全商女性連宮崎全国大会
- 15 宮崎全国大会エキスカージョン
- 16 スプリングセミナー
- 17 日本科学未来館視察会・交流会
- 18 社会貢献部主催勉強会
- 19 チャリティコンサート
- 20 女性経営者交流会 in 福島
- 21 関連事業参加レポート その他
- 22 東商女性会委員会等活動の  
ご案内 役員名簿
- 23 今後の予定 その他

東商Lady

2011年2月25日 / 第17号

発行所 東京商工会議所  
会員交流センター

発行人 東京商工会議所女性会  
会長 吉川 稲美

編集 東京商工会議所女性会  
広報担当



商工会議所女性会